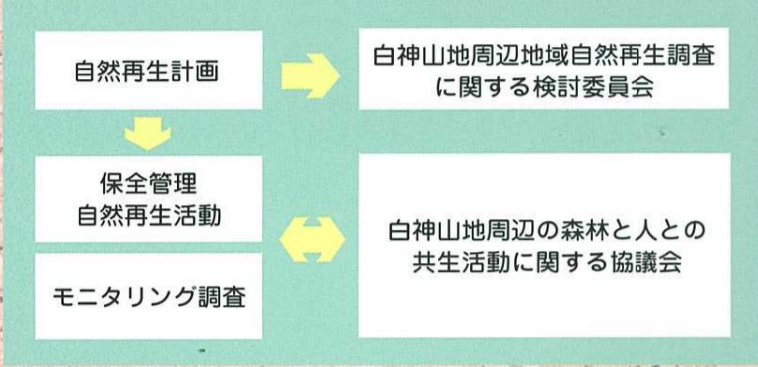


『白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会』 と共に計画を進めていきます

白神山地周辺地域の自然再生計画は、学識者からなる検討委員会を設置して計画づくりを行いました。

自然再生の活動は、学識経験者、自治体関係者、ボランティア団体等で構成される「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」で情報を共有しながら、自然再生活動等で円滑な管理運営を図ります。



津軽白神森林生態系保全センター
青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字米町25-2
TEL 0173-72-2931 FAX 0173-72-2932

東北森林管理局
秋田市中通5丁目9-16
TEL 018-836-2014 FAX 018-889-1356

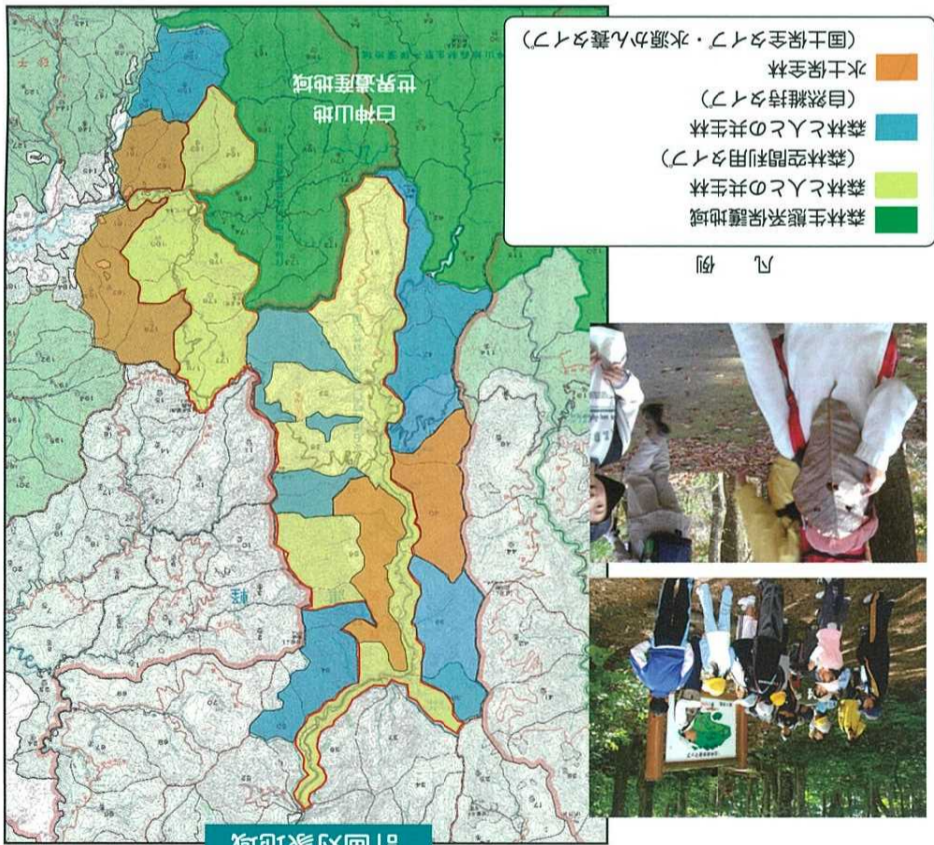
津軽森林管理署
弘前市大字豊田2-2-4
TEL 0172-27-2800 FAX 0172-27-0733

編集：アジア航測株式会社 デザイン・イラスト提供：株式会社エムピーディー
写真提供：津軽白神森林生態系保全センター



白神山地周辺地域の 自然再生をめざして

林野庁東北森林管理局



▲ **森林と人との共生林**
森林と人との共生林は、さらに重視する目的によって、二つのタイプに分かれています。

- **自然維持タイプ**
多様な生物の遺伝子資源の保全、貴重な動植物の保護など自然環境の保全を重視した森林。
- **森林空間利用タイプ**
国民の皆さまに親しい体験・学習等の森林とのふれあいの場所を提供することを重視した森林で、「レクリエーションの森」やボランティア団体等に活動の場を提供する「ふれあいの森」など、各種体験林業等を行う森林です。

▲ **計画対象地域**
自然再生計画の対象地域は、森林空間利用タイプの範囲です。



白神山地世界遺産地域は、日本海型の典型的なツナギを主体とする原生的な天然林が分布し、雄大な山岳景観とともに、動植物相の多様性で世界的にみてもきわめて貴重な自然が残されています。その周辺地域の一部は国立公園や県立自然公園に指定され、青森県側の北側では森林空間利用タイプに類型区分された国有林が分布しています。

国有林側の森林空間利用タイプの地域には、戦後の拡大造林により、スギを主体とする人工林が分布しており、標高の高い区域では、広葉樹が侵入する人工林が見られます。このような人工林等を対象にして、「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」が立ち上がり、自然再生や植林活動など多様なボランティア活動が行われていますが、自然再生に向けた方向性を示すとともに、ボランティア活動の指針を作成し、多様な参加主体による自然再生活動を推進することが必要です。

このため、東北森林管理局では、平成20年度に学識者からなる「白神山地周辺地域自然再生調査検討委員会」を設置し、白神山地周辺地域における自然再生の方向性をとりまとめ、計画書を策定しました。今後の取組みについては、関係行政機関、自然保護団体、NPO、学識経験者などと連携して、白神山地周辺地域の森林空間利用タイプに分布するスギ人工林を広葉樹林化等してはかるなどの自然再生事業を実施します。スギ人工林を広葉樹林化等してはかるなどの自然再生事業を実施します。地域住民やボランティア、企業など多様な参加を得ながら、生物多様性の向上やゆたかな地域づくりに貢献していくことが重要と考えています。

イコノ衛星画像からみた白神山地周辺地域。濃い緑色の箇所がスギ人工林
イコノ衛星画像
© 日本スバースペースシステム株式会社